

腸チフス・パラチフスとは（消毒方法について）

- ◆腸チフス・パラチフスは、輸入感染症で、汚染された水・氷や食品、患者さんの便・尿や吐物を感染源とする経口感染症です。また、患者さんとの性交・キスなどの接触によっても感染することがあります。
- ◆症状は、高熱（39～40℃以上）が1週間以上も続き、バラ疹（胸や上腹部によく出る2～4mmの紅淡色の発疹）、脾腫、下痢などがあります。重症例では、意識障害がおきたり難聴になることもあります。
- ◆解熱後、1週間くらいまで腸出血の危険性があるので安静と食事療法が必要となってきます。
- ◆健康な状態で菌を保有する場合がありますが、その場合、胆のうの中に菌を持ち胆石保有者や慢性胆のう炎に合併することが多くあります。
- ◆症状が出るまでの期間は、7～14日間といわれています。

1. 汚染物の消毒・滅菌

主な消毒対象は、患者の便で汚染された可能性のある箇所（便座や水洗トイレの取っ手、ドアのノブなど）になります。

1) 消毒薬

腸チフス菌・パラチフス菌に対して有効な消毒薬

- 消毒用エタノール
- 第四級アンモニウム塩（商品名：オスバン、逆性せっけん液、ハイアミンなど）
- 次亜塩素酸ナトリウム（商品名：ミルトン、ピューラックス、ハイターなど）
- 両性界面活性剤（商品名：テゴール、ハイパールなど）

消毒薬は薬局で購入可能です。消毒薬の濃度や使用方法は薬剤の添付説明書を参考にします。また、80℃・10分間の煮沸消毒も有効です。

消毒薬	消毒対象	トイレの室内ふき取り	衣類のつけおき	台所のふき取り	手指の消毒
	第四級アンモニウム塩	○	○	○	○
	消毒用エタノール	○	×	○	○
	両性界面活性剤	×	×	○	○
	次亜塩素酸ナトリウム	○	○	○	×

2) 消毒方法

①トイレ（室内）

- 手の触れる機会の多い水洗レバー、ドアのノブ、便器、蛇口、床、ドアなどを規定の濃度に薄めた消毒薬に浸して絞った布でよく拭きます。
- 手拭きタオルは家族と別のものを使います。

②便槽

公共用下水道式の水洗トイレの場合

- 消毒薬を下水道に流し込んではいけません。

浄化槽の場合

- 消毒薬を浄化槽に流し込んではいけません。
- 処理槽や消毒槽が正常に機能していれば、菌が増えたり、生きた状態で槽外へ出たりすることはありません。したがって、浄化槽（塩素による消毒槽）の状態を専門業者に点検してもらう必要があります。

③患者さんの便に汚染された衣類

- ・便の汚染が考えられる下着・寝具・タオル・ハンカチは、消毒薬に浸してから洗濯するようにします。
- ・家族のものとは別にして洗濯し、天日で十分乾かしましょう。また、煮沸でも十分です。

④おむつ交換

- ・患者さんの便を処理する場合（おむつ交換など）にはゴム手袋や使い捨ての手袋を使います。
- ・ゴム手袋を用いた場合には使用後に消毒します。

⑤書籍等（学校など）

- ・消毒の必要はありません。患者さんが小児で、おもちゃなどがあれば、消毒薬で拭き取ります。

⑥入浴

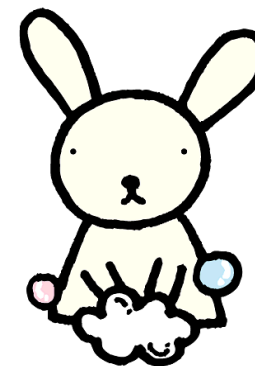
- ・患者さんの入浴はできるだけ浴槽につからず、シャワーかかけ湯にします。
- ・お風呂に入る場合は、家族が入浴し終わった後に入り、他の人と一緒に入らないようにします。
- ・最後に風呂の水は流して、浴室用洗剤で十分に洗浄します。バスタオルは、家族とは別の物を使います。

⑦台所

- ・よく掃除し、流しや蛇口、食器棚や冷蔵庫の扉（取っ手）などは消毒薬でよく拭きます。使った食器類は洗剤と流水で洗います。

⑧その他

- ・手指については、特に食事前に石けんと流水でよく洗うことが大切です。



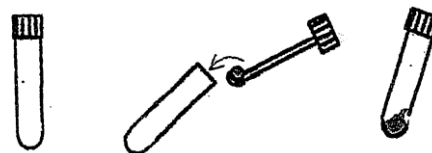
2. 便の検査を受ける方へ

- ・家族や患者さんと食事をともにした方は、健康調査が必要です。検便は保健所が無料で行います。
- ・プライバシー保護には十分配慮いたしますので、ご理解いただきますようお願いいたします。
- ・便は細菌検査をしますので、排便後ただちに次の手順で便を採ってください。
- ・洋式トイレの場合は、通常の逆向きに座って便器にトイレットペーパーをたくさん重ねたものを敷いて排便すると採れやすいようです。（図1）
- ・便の量は、小指の頭くらいの量の中に入っているスプーンで採ってください。（図2）

図1 ◎洋式トイレ ◎和式トイレ



図2 ① ② ③



山形県置賜保健所

保健企画課 感染症対策担当

米沢市金池7丁目1-50

電話0238-22-3002（直通）